

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会

令和3年度第1回 グループディスカッションの実施について

1 目的とねらい

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、14名の委員による運営委員会を立ち上げ、地域包括ケアシステムの第2段階の展開に向けて、取組を推進しております。

この連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として、地域でご活躍いただくことをめざしています。

2 実施の考え方

本グループディスカッションの考え方は次の通りとします。



① 地域包括ケアシステムに対する「考え方」や「意見」を集約します

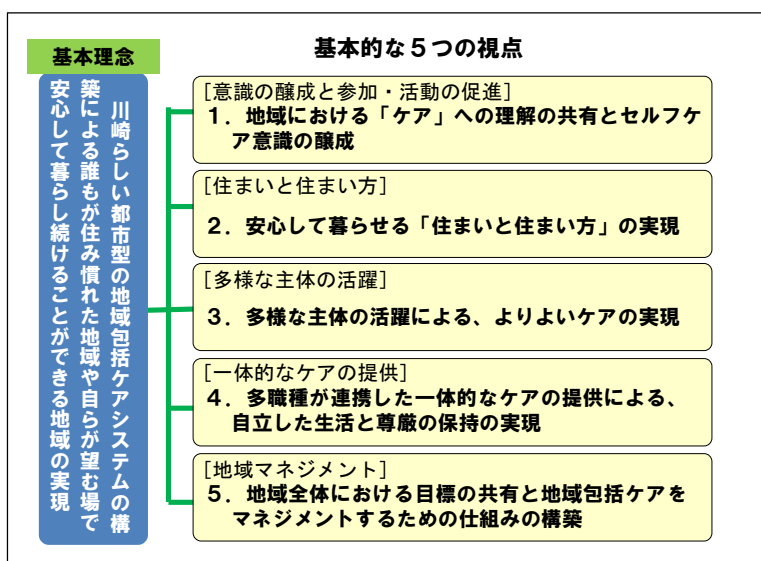
自らが地域包括ケアシステムの担い手と意識できるよう、地域包括ケアシステムの「考え方」や「意見」をカテゴリごとにまとめます。

② 参加者による「全員参加型」で行います

事業者、企業、大学、住民団体、住民など、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話し合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合いやすい雰囲気を醸成します。

3 連絡協議会のテーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考として設定することとしたい。



「意識の醸成と参加・活動の促進」をテーマに平成31年2月と令和元年9月に実施

「住まいと住まい方」をテーマに令和2年2月に実施

⇒今回(令和3年第1回)

住まいと住まい方(2回目)

※令和2年度は特別篇として新型コロナウイルスに関するテーマで実施

4 実施方法

(1) テーマ

①「安心して暮らし続けられる住まいとは」

②「住まい方を支える地域のコミュニティを維持するために必要なことは」

※住まい方とは

「住まい方」とは、家族等や地域コミュニティとの、生活を送る中での関わり合いとそれを含めた多様な生活の仕方を示すものであり、「誰と関わり、どのように生活していくか」といった観点。

2つのテーマについて意見出しをお願いします。

(参考となるキーワード)「入居支援」、「空き家問題」、「地域の見守り」

(2) 実施手法

グループディスカッションでの話し合いは、運営委員の方を中心に、ファシリテーターになっていただき、話し合いを進めます。

参加者ごとに、テーマに関する意見やアイデアを発表してください。グループ内の書記役の方が指定のパワーポイント様式に意見をまとめ、ファシリテーターの方がグループごとに内容を発表してください。

その後、事務局で全体の意見をまとめ、本市健康福祉局・宮脇局長からコメントをいただき、座長の埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授の田中先生から全体講評をいただきます。

(3) グループニング

10～11名のグループに分けます。

テーマの内容を踏まえ、各グループは、事業内容または業態が近い団体に構成しています。

(4) タイムテーブル

別添のとおり

(5) まとめ方

会場の意見、講評コメントは、後日、報告書としてまとめます。

グループディスカッション終了後には、アンケート用紙に、参加した感想や話しきれなかった意見等をご記入下さい。

＜タイムテーブル＞

	内 容
18:00～	市長挨拶
18:05～ 18:15 (10分)	川崎市における地域包括ケアシステムの取組状況 「川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組」 (説明者) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 久々津 裕敏
18:15～ 18:35 (20分)	市内の取組状況報告 川崎市居住支援協議会の取組について (報告者) 川崎市まちづくり局住宅整備推進課 特定非営利法人 楽 理事長 柴田 範子 氏
18:35～ 18:40 (5分)	グループディスカッション全体の流れの説明 全体の流れ、グループディスカッションのルールについて説明。 (説明者・進行役) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室室長 鹿島 智
18:40～ 18:50 (10分)	自己紹介・アイスブレイク 1人30秒程度で自己紹介をしていただく。 ※テーマ:「コロナ禍での生活の変化」
18:50～ 19:30 (40分)	グループディスカッション ①「安心して暮らし続けられる住まいとは」、②「住まい方を支える地域のコミュニティを維持するために必要なことは」の2つのテーマについて、個人ワークを行ったのち、グループ内で意見交換を行い、内容をまとめていただく。 ※参考ワード:入居支援、空き家問題、地域の見守り
19:30～ 19:45 (15分)	報告 1グループ合計2分を目途に、2つのテーマに沿って、各グループから報告していただく。
19:45～ 19:50 (5分)	コメント 事務局から、参加された皆様の御意見のまとめを報告。その後、本市健康福祉局長からコメント。 (コメンテーター) 宮脇 護 川崎市健康福祉局長
19:50～ 19:55 (5分)	全体講評 埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授の田中滋先生から講評をいただく。
	閉会・副市長挨拶